

平成21年度 事務事業評価シート（平成20年度実績分）

事務事業名		墓地管理		部課コード	1813	予算事業科目	010401020201	事	単	区分	継続
所管部署	担当部局	環境部	部長名(2次評価者)	水口 俊智		個別事務	010401020201	-			
	担当部署	環境保全課	所属長名(1次評価者)	福島 郁夫				-			
	電話番号	3658	E-mail	kc-181300@city.kochi.lg.jp				-			

1 事業の位置付け

予算科目(平成20年度)		高知市総合計画・実施計画施策体系での位置付け										
会計	01 一般会計	目標	03 C環境と共生する安全で快適な都市							政策基本方針	すべての市民が安全で、安心して暮らせる快適な生活環境づくりを推進します。	
款	04 衛生費	政策	05 快適で安全な生活環境づくり									
項	01 保健衛生費	施策	06 市有墓地									
目	02 保健衛生施設費	区分	01 市有墓地									

2 事業の根拠

法律・政令・省令	墓地、埋葬等に関する法律	法定受託事務
県条例・規則・要綱等	高知県墓地、埋葬等に関する法律施行条例及び同条例施行規則、高知県墓地対策要綱	
市条例・規則・要綱等	高知市墓地条例	
その他(計画、覚書等)		

3 事業の目的・内容等

対象	誰(何)を対象に	市民・埋葬者の縁故者		
意図	どのような状態にしていけるのか	墓地公園、春野墓地、潮江墓地、地区墓地の機能維持管理		
手段	事業実施体制等	高知市	事業開始年度	昭和46年
			事業終了年度	
活動内容	どのような事業活動を行うのか	墓所が宗教的感情に適合し、かつ、公衆衛生その他公共の福祉の見地から支障がないように永続的に確保する。		
成果指標	事業目的の成果を測る指標		指標設定の考え方	
	A	利用率	墓地公園及び春野墓地の利用率	
	B	管理費の削減	計画管理による管理費の削減	
	C			

4 事業の実績等

			18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(計画)	備考欄	
成果指標	A	利用率	99%	99%	95%	95%	18年度実績には旧春野町を含まない。 前年度比5%の削減 19~20年度の管理費の増加は春野町との合併による	
		実績	99.5% (2196区画/2206区画)	95.9% (3105区画/3236区画)	95.9% (3105区画/3236区画)			
	B	管理費の削減	95%	95%	95%	95%		
実績		82.3% (8,217/9,981)	70.3% (5,774/8,217)	130.8% (7,669/5,774)				
C	目標							
	実績							
投入コスト	① 事業費	決算額 (千円)	8,217	5,774	7,669	13,606	18年度実績には旧春野町を含まない。	
		財源内訳	国費 (千円)					
			県費 (千円)					
			市債 (千円)					
			その他 (千円)	8,217	5,774	7,669		
			一般財源 (千円)	0	0	0		
	翌年度への繰越額 (千円)	0	0	0				
	② 概算人件費等	人件費等 (千円)	18,375	17,625	18,750		18年度実績には旧春野町を含まない。	
		正規職員 (千円)	18,375	17,625	18,750			
		その他 (千円)						
		人役数 (人)	2.45	2.35	2.50			
		正規職員 (人)	2.45	2.35	2.50			
		その他 (人)						
総コスト= ① + ② (千円)		26,592	23,399	26,419				
市民1人当たりコスト (円)		81	69	78		総コスト/年度末人口		
年度末住民基本台帳人数 (人)		327,310	341,544	340,695				

5 成果指標で表せない事業成果・市民満足度・その他課題点等

○墓地公園、春野墓地：清掃・除草等は年間計画で業務委託  
 ○潮江墓地、地区墓地：主たる墓参道以外は利用者管理とし、最小限の費用で維持管理  
 ○共用施設の維持管理費：墓地区画については、使用許可において利用者に排他的利用を認めており利用者の管理となるが、墓地公園及び春野墓地の、駐車場や緑地などの共同施設は墓地利用者の全てが利用する施設であり、その管理経費については墓地利用者において負担されるものであり、受益者負担の適正化の観点から墓地管理料の新設が必要である。

6 1次評価（所属長評価）

評価日（平成 21 年 9 月 4 日）

評価項目		評価基準	1次	平均点数	評価内容の説明
事業実施の必要性	① [施策体系等での位置付け] 事業の実施が市の総合計画・実施計画・市長マニフェスト等の目標達成に結びつくか、又は、事業の根拠等に結びつくか	A (5) 結びつく	A	4.0	○「快適で安全な生活環境づくり」における都市機能の一部である。 ○公共墓地としての市民ニーズは高い。ただし、宗教法人、財団法人が墓地供給を行っており直ちに不足する状況ではない。
		B (3) 一部結びつく			
		C (1) あまり結びつかない			
		D (0) 結びつかない			
② [市民ニーズの傾向] 事業の実施に対する市民のニーズ（需要量）の傾向はどうか	A (5) 非常に多い、急増している	B			
	B (3) 横ばいである				
	C (1) 少ない、減少している				
	D (0) ほとんどない				
事業内容の有効性	③ [成果の達成状況] 事業の成果指標の達成状況は順調か	A (5) 十分に達成している	A	4.0	○墓地の利用率は高水準で推移。 ○この間は、公共墓地の新規供給を行っていない（平成14年の一宮墓地公園の増設が最後）ため、市民ニーズへの十分な対応はできていない。
		B (3) 概ね達成している			
		C (1) あまり順調ではない			
		D (0) 十分な成果を望めない			
	④ [事業の手法・活動内容] 事業成果の向上のための手法・活動内容の妥当性	A (5) 妥当である	B		
		B (3) 概ね妥当である			
		C (1) 検討の余地がある			
		D (0) 見直しが必要である			
事業実施の効率性	⑤ [アウトソーシングの可能性] 事業の実施にかかる民間活力利用の可能性	A (5) 実施済・できない	C	2.0	○墓地公園及び春野墓地は指定管理者制度への移行は可能。 ○他の市有墓地（潮江墓地、地区墓地）は、利用者の把握も十分ではなくアウトソーシングには適さない。 ○また、墓地公園・春野墓地については都市公園としての管理は可能。
		B (3) 行政主体が望ましい			
		C (1) 検討の余地はある			
		D (0) 十分可能である			
	⑥ [事業統合・連携・コスト削減の可能性] 類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性	A (5) 現状が望ましい・できない	B		
		B (3) 概ね効率的にできている			
		C (1) 検討の余地がある			
		D (0) 十分可能である			
事業実施の公平性	⑦ [受益者の偏り] 事業の受益者が特定の個人(団体)等に偏りがなく公平性が保たれているか	A (5) 極めて公平性が高い	A	2.5	○各墓地ごとにおいては、利用者の地域的な偏りはあるが、全体的にみれば公平性は保たれている。 ○墓地基金が枯渇していく状況にあり、共用施設部分の維持管理費については、受益者負担を求める時期となっている。
		B (3) 概ね保たれている			
		C (1) 偏っている			
		D (0) 公平性を欠いている			
	⑧ [受益者負担の適正化] 事業実施の財源として、受益者負担割合（一般財源負担割合）は妥当か。補助金等交付事業の場合、対象経費は妥当か。	A (5) 適正な負担割合である	D		
		B (3) 概ね適正な負担割合である			
		C (1) 検討の余地がある			
		D (0) 検討すべきである			
総合点	12.5	総合評価	A 事業継続 (総合点が16点以上で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合)		
			B 経費削減に努め事業継続 (総合点が12点以上16点未満で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合)		
			○ C 事業縮小・再構築の検討 (総合点が4点以上12点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで2点以下がある場合)		
			D 事業廃止・凍結の検討 (総合点が4点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで1点以下がある場合)		

7 2次評価（部局長評価）

評価日（平成 21 年 9 月 25 日）

総合評価	評価理由・今後の方向性等
A 事業継続	墓地は特定の利用者が受益者となっていることから管理費用の応分の負担を求めなければならないが、これまでの墓地の公募の際の条件等経過や、基金の運用など課題の整理を行うことが肝要。
B 経費削減に努め事業継続	
○ C 事業縮小・再構築の検討	
D 事業廃止・凍結の検討	

8 特記事項

--